

現場見学研修会

平成24年10月26日、27日に、現場見学研修会が三重県の矢頭峠トンネルで開催されました。参加者は協会員46名でした。なお(一財)建設業振興基金の大八木勝彦専務理事と松本尚佳参事にも参加していただきました。



<平田所長>



《工事概要》 工事名：主要地方道一志美杉線(矢頭峠バイパス)道路改良矢頭峠トンネル
 発注者：三重県（津建設事務所）
 元 請：鹿島・日本土建・勢和特定建設工事共同企業体
 施 工：横山工業・山崎建設共同企業体
 トンネル延長：L=1,637m
 掘削断面積：S=52.7m²
 コンクリート吹付：エレクター付きツインノズル吹付機
 （鹿島建設・ニシオティーアンドエム製作）
 覆 工：覆工セントル10.5m 2基使用

<五百瀬所長・宮地安全部長 質疑応答>

質 問	回 答
ツインノズル吹付機のメリットは？	断面の大きい所では、吹付時間も短縮でき、非常に有効な機械だと思っている。
TCMダンプは大きいので現場で回転出来ないのでは？	運転席が前と後ろに付いていて、回転せずに走れるようになっている。
切羽は150ルクスぐらい、現場が非常に明るく感じましたが？	全てLED照明で、15メートル間隔で取付けている。
資格を取ったり、持っている人に対し手当はあるのか？	報奨金の様なものは特にやっていない。逆に必要な資格等を取っていない者にはペナルティーを課すこともある。必須資格としては、高所作業、玉掛け、大型、発破、クレーン、解体、車輛系整地運搬等。

<大八木専務理事 挨拶>

現場作業を担当されている方は、1班で10人弱とのことで、それを昼間と夜間とで作業に当たられており、現場の大変さを改めて感じさせられました。また、ダイナマイトの爆風を背中で感じる事ができたことは、貴重な体験でした。

建設業振興基金は、一般財団法人になったことから、従来に比べ行政の指導が少なくなり、独立性が重んじられるようになりました。今年度中期経営計画を立て、その一環として、第一線で働く方々に話を聞くため現場に直接お邪魔しています。皆様の要望等をお聞きして、お役に立つ組織となることを目指し、スピーディーに対応して行くつもりです。

